
limit.

哀しき吸血鬼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Limit .

【Nコード】

N4016Z

【作者名】

哀しき吸血鬼

【あらすじ】

彼らが閉じ込められた場所では、次々と非現実的な事が起こる。彼等は生き残る為に手段を選んでる時間は無い、早くこの場から逃げ出さなければ……待っているのは死のみの過酷なゲームが幕をあげる。

朝（前書き）

前回の
が

消えてしまったので

再投稿の様な感じ
です。

すみません > m () m <

朝

何ら変わりのない、朝が今日も来た。

7:00

もう…こんな時間が、そろそろ飯の出来る時間だ。

そんな事を考えていた矢先に母の声が聞こえた。

「ご飯の準備出来たよ」

「ああ、わかった今行くよ」

今日は、学校がある。

少し落ち込むが、明日からは念願の夏休みだ。

1学期最後の登校だ、遅刻はしたくない。

そんな事を考えながら、支度を済ませ一階に降りた。

階段を降りたすぐ近くの扉がリビングになっており、そこで朝食を取っている。

ガチャ

「遅いよ！今日は1学期最後の登校だから早く行かないと」

「わかってるって」

朝から、母に怒られるのはもう何回目になるだろうか。

母の機嫌が悪くなる前に、早く飯を食って登校する事にした。

「行ってきまーす」

返事が無い、きっと洗い物でもしているのだろう、いつもの事だ。

朝（後書き）

誤字や

わかりずらい場所が

ありましたら教えて下さい。

感想なども

お願いします。

最後の登校（前書き）

少し内容が

変わりました（x|x;x）

最後の登校

7:58

「ふうー、ギリギリ間に合ったあーって急いで教室に行かなければ
…やべえ」

校門に二分前に着いただけで遅刻は免れたと思った僕が、そこには
いた。

8:01

「先生、遅れました！すみません」

教室の隅の方から

聞き慣れた声でした。

「また、遅刻かい？君は懲りないよな」

僕は顔を見なくてもわかった、僕に嫌みを言った奴は教室の隅で良
く本を読んでいる、雨音「アマネ」修「シュウ」に違いない。

何故なら、上から目線で物事を言ってくる奴は限られるからだ、そ
れもこのクラスの隅となると一人しかいない。

正直、僕には苦手なタイプだ。

最後の登校（後書き）

誤字、感想等が
有りましたら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4016z/>

limit.

2011年12月14日01時03分発行